

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
高萩市、北茨城市	高萩市、北茨城市、高萩・北茨城広域事務組合	平成 27 年度～令和 3 年度	平成 27 年度～令和 3 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成29年度)	目 標 (令和4年度) A	実 績 (令和4年度) B	実績 /目標	
排出量	事業系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	219.3 kg/人	214.6 kg/人	229.8 kg/人	-228.6%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	2,855 t	3,102 t	2,668 t	-6.7%
	総資源化量	3,898 t	4,234 t	3,344 t	-61.9%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	3,166 t	3,086 t	3,108 t	300.0%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成25年度)	目 標 (令和4年度) A	実 績 (令和4年度) B	実績 /目標	
総人口	46,627	42,876	41,454	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	3,730	4,716	4,394	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	8.0%	11.0%	10.6%	86.7%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	1,072	1,029	788	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	2.3%	2.4%	1.9%	-400.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	22,661	25,512	22,924	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	48.6%	59.5%	55.3%	61.5%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	19,164	11,619	13,348	77.1%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

(ごみ処理)

1. 排出量

生活系総排出量の 1 人当たりの排出量は、目標を達成することができなかった。これは、人口減少の加速化と北茨城市清掃センターの廃止に伴う、市北部地域等からのかけ込み搬入の増加によるものと考えられる。

2. 再生利用量

主な要因としては、民間事業者による資源物の店頭回収の拡大等によるもの、及びコロナ禍により布類（衣類等）の引取り先がない状況となり、その後の引取りも限定的になったことによるものと考えられる。

3. 最終処分量

目標年度は北茨城市清掃センターが廃止する年度であり、新施設までの搬入距離が長くなる市北部地域等からのかけ込み搬入によるものに起因したものと考えられる。

(生活排水処理)

汚水衛生処理率が目標を達成できなかった要因として、消費税増税、新型コロナウイルス感染症による先行きの不透明化およびウクライナ侵攻による物価高騰などの社会情勢の変化による金銭的な理由から住宅の新築・改築の件数が低迷したことが考えられる。また、高齢者世帯が多く、既存設備の更新に意欲がないことも要因として考えられる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和 9 年度まで

[ごみ処理]

粗大ごみなどで再生使用可能な物は、再使用に回す仕組み作りを行う。（令和 5 年度より実施済）

資源ごみ、不燃ごみ及び粗大ごみは、マテリアルリサイクル施設で破碎・選別・圧縮等の処理を行い、資源化するとともに、残渣は全て焼却処理し、最終処分量の削減を図る。（令和 5 年度から実施済）

[生活排水処理]

継続して補助事業を行い、令和 6 年度からは宅内配管工事補助を新規実施し補助内容の拡充をする。広報誌、市 HP を活用し啓発活動を引き続き行う。

(都道府県知事の所見)

【ごみ処理】

目標が達成できなかった各指標について、上記の方策により各種施策を推進されたい。

また、さらなる循環型社会の形成に向けて、目標を達成できた指標についても、継続して施策に取り組みたい。

【生活排水処理】

新たな目標を達成すべく、浄化槽設置費補助事業における補助対象の拡充や広報誌等による啓発を行い、進捗状況を随時確認しながら確実に事業を実施していただきたい。